

その1) マイナンバー取得にあるドラマ

その2) ドラマは、3部作

その3) 代理編・スイスイ編・スリスリ編



春のドラマNO1は、『セカムズ』こと、『世界で一番難しい恋』でした。
嵐の大野君が、初恋愛にもがく姿に、自分の高校生頃を思い出しました。
ロダン君は、春での難しかったものは、『マイナンバーカード交付』です。
『新潟で一番難しいマイナンバーカード交付』のドラマの始まりです。

(その1代理編) マイナンバーカードを代理でもらうのは簡単か？

『高齢者の老夫婦が、マイナンバーカードを市役所に代わりに取って来て欲しい。』
『夫婦で交付には1時間かかるとのこと。私ひざが痛いので、1時間も待てません。』
『先生押しが強いでしょ』と言われたので、一押ししてみようかと思いました。
市役所に照会すると、『来れない理由を証明せよ』とのこと。
『障害者手帳があればそれでよいが、他は医師の診断書をもって来て欲しい』
診断書を取る手間を考えたら、担いででも連れて行く方が早いことから、
同行して差し上げました。交付前には、暗証番号を自らパソコン入力する必要あり。
痛々しかった。(6桁暗証入力は、想定外。普段の4桁にイニシャルを混ぜて対応。)
(同行し、アドバイス対応のため、30分で終了しました。)

(その2スイスイ編) 実質2回目のマイナンバーカード取得ですから・・・。

マイナンバーカードの交付申請から、準備完了ハガキが届きまでに3か月くらい
掛かります。
私の場合、実質2回目なので、緊張感も全くなく、市役所に向かいました。
すると気になることが……。
それは、待機所となる場所に、8脚パイプ椅子がありましたが、その前列全てが、
座面が切れており、中のスポンジがはみ出ていました。
さらにその1脚では座面が壊れており、腰かけると、ずり落ちてしまいそうでした。
『危ないし、見苦しい椅子で、不快にさせないよう、取り替えたら……。』と注意。
数人の担当は、誰も動かない。再度注意すると、全員が慌てて取り替えに動きました。

（その3スリスリ編）また切れた椅子を発見しましたが、怒らなかった訳

今回の依頼は、本人確認書類に不備、ハガキ紛失、マイナンバー通知紛失とトリプルなお悩みを抱えたAさんからの依頼です。

（本人確認が不完全）

マイナンバーカードは、本人の申請が大原則。

その本人確認には、1点確認と2点確認書類にて行います。

1点確認は、免許証などの写真付き公的書類。

2点確認は、保険証や年金手帳など。

今回の依頼は、免許証の住所変更（書き換え前に戻りたい）していないAさん。

なお、健康保険証は現住所になっています。

いわゆる、1.5点確認。

市役所回答では、この場合免許証の住所が、住民票の直前住所と市民課にて確認できればOKとのこと。

（マイナンバーカード申請は、事前予約）

事前予約には、ハガキにある市役所の専用ダイヤルに電話が原則。

しかし、ハガキがなくても予約は可能（市役所交換経由）。

（予約当日に、ハガキと通知カードが見つからない）

会場には、本人確認1.5点書類と印鑑を持参。

事情を説明すると、紛失届をその場で記入し、

交付申請手続きができました。

なお、初回の有効期限は4年目の誕生日まで。

マイナンバーカード交付では、

厳格さと融通さの両面を知りました。

市役所待合所では、
また椅子が気になります。
すると一脚に切れ目を発見。
今回は注意しませんでした。
（お願い＝スリスリが優先）



（あのパイプ椅子1脚が変わっていますように・・・。）

万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

（ 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 ）
（ 八百板誠行政書士事務所 ）

事 務 所 ： 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 （8階建の1階奥です）

025（228）4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。